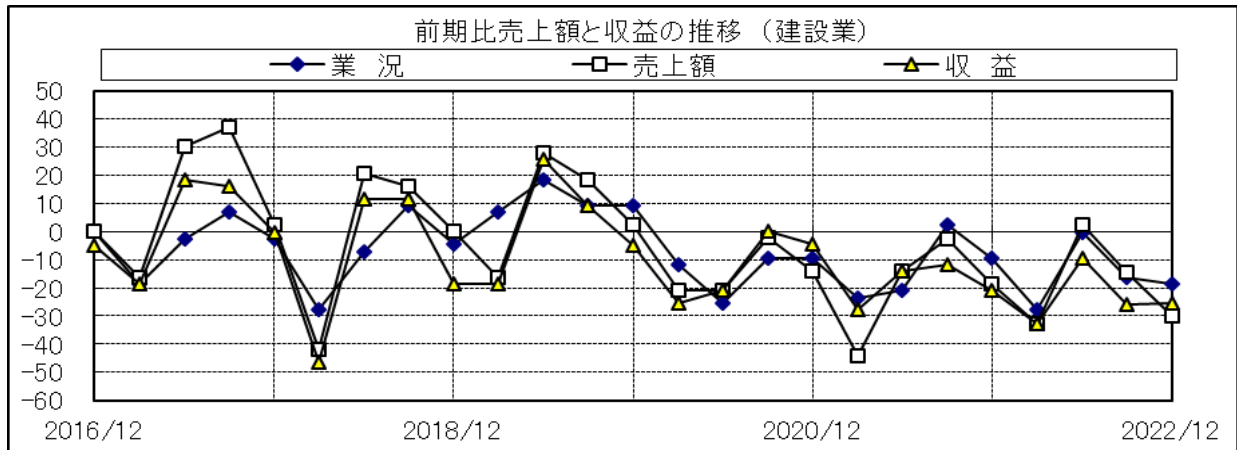


建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業 況	-0.1	-16.3	-18.7	-44.2
売上額	2.3	-14.3	-30.2	-41.8
収 益	-9.3	-25.7	-25.6	-44.2

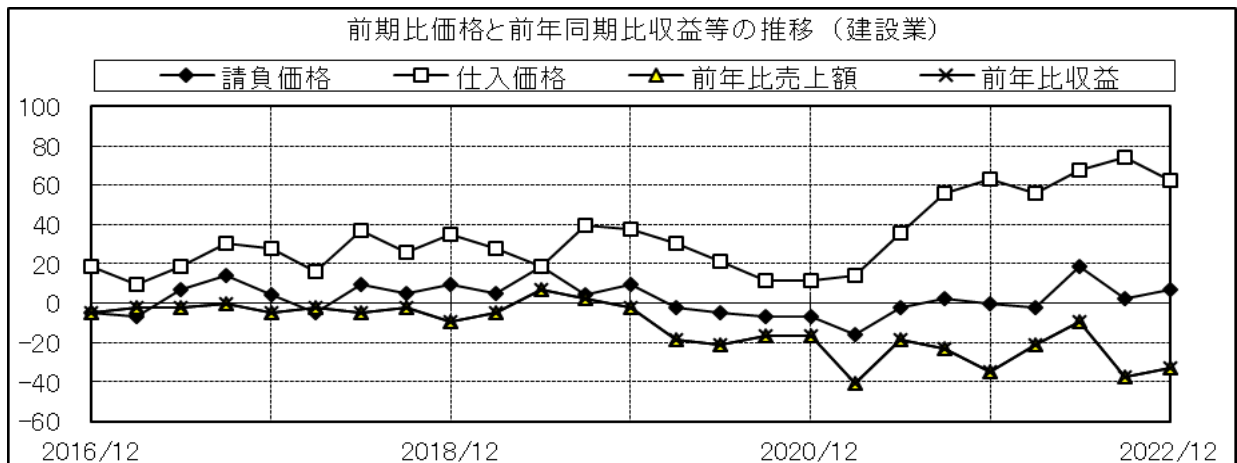
今期の業況判断 D. I. は△18.7 で、前期比 2.4 ポイント下降。前年(△9.3)比 9.4 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は高い順に、広尾が最も高く、次に静内、えりも、浦河、様似と続き、三石が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、△30.2 で、前期比 15.9 ポイント下降。収益判断 D. I. は△25.6 で、前期比 0.1 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
請負価格	18.5	2.4	6.9	0.0
仕入価格	67.5	74.4	62.7	46.5

請負価格判断 D. I. は 6.9 で、前期比 4.5 ポイント上昇。前年(0.0)比 6.9 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 62.7 で、前期比 11.7 ポイント下降、前年(62.9)比 0.2 ポイントの下降となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	-7.0	-22.0	-4.6	-7.0
人手状況	-28.0	-32.6	-30.2	-20.9

残業時間判断 D. I. は△4.6 で、前期比 17.4 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△30.2 で、前期比 2.4 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

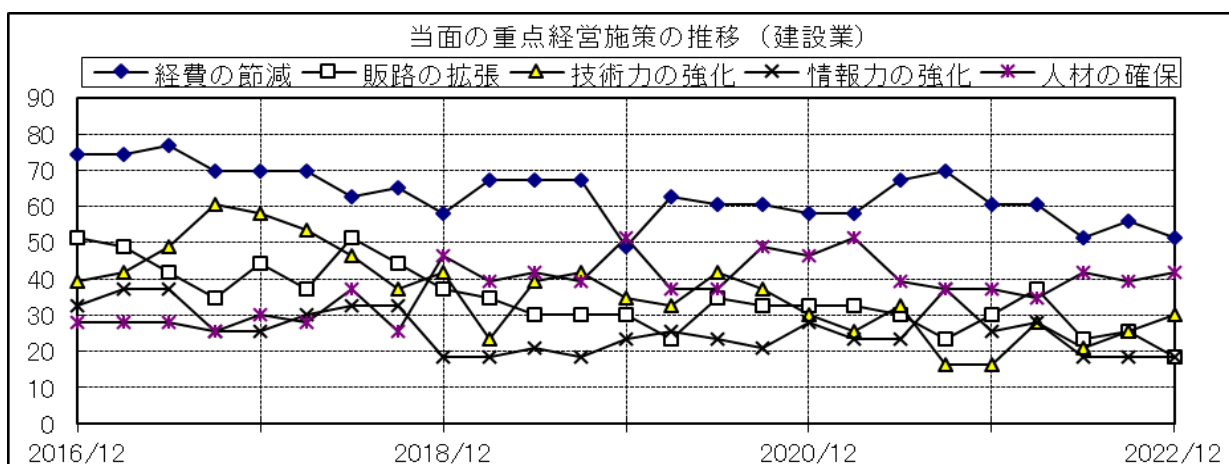
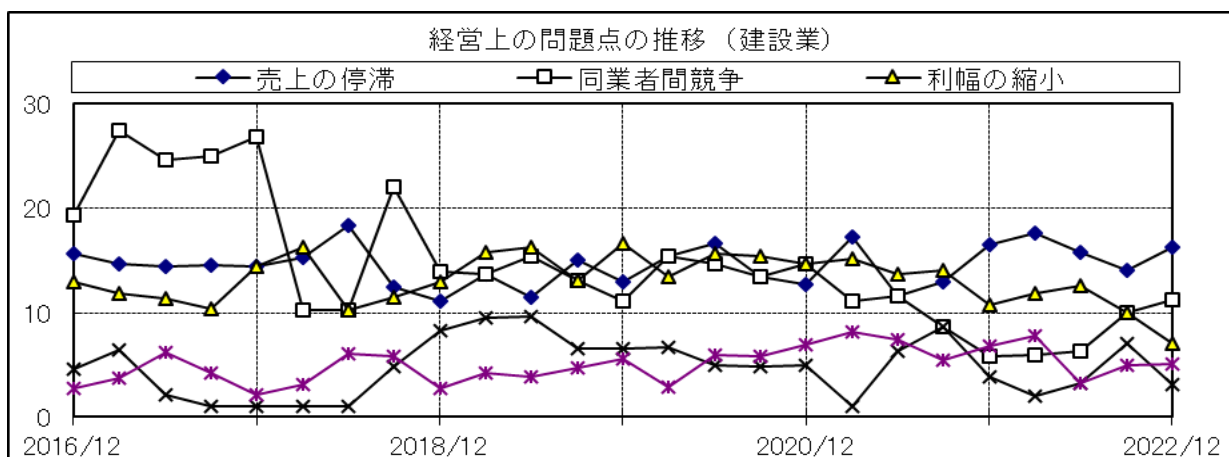
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 4.7$ で、前期($\Delta 11.6$)比6.9ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は14.0で、前期(16.3)比2.3ポイント下降した。設備投資は、前期7社に対し、6社の実施となった。来期の設備投資は、6社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が27.6%と最も多く、次に「売上停滞減少」16.3%、「人手不足」14.3%、「同業者競合」11.2%、「利幅縮小」7.1%、「技術力不足」6.1%、「下請確保難」・「地場産業衰退」が5.1%、「人件費増加」3.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が51.2%と最も多く、次に「人材確保」41.9%、「技術力強化」30.2%、「販路拡大」・「情報力強化」が18.6%、「新工法導入」9.3%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 44.2$ と、今期比25.5ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 41.8$ と、今期比11.6ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 44.2$ と、今期比18.6ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D. I. は0.0と、今期比6.9ポイントの下降を見通している。

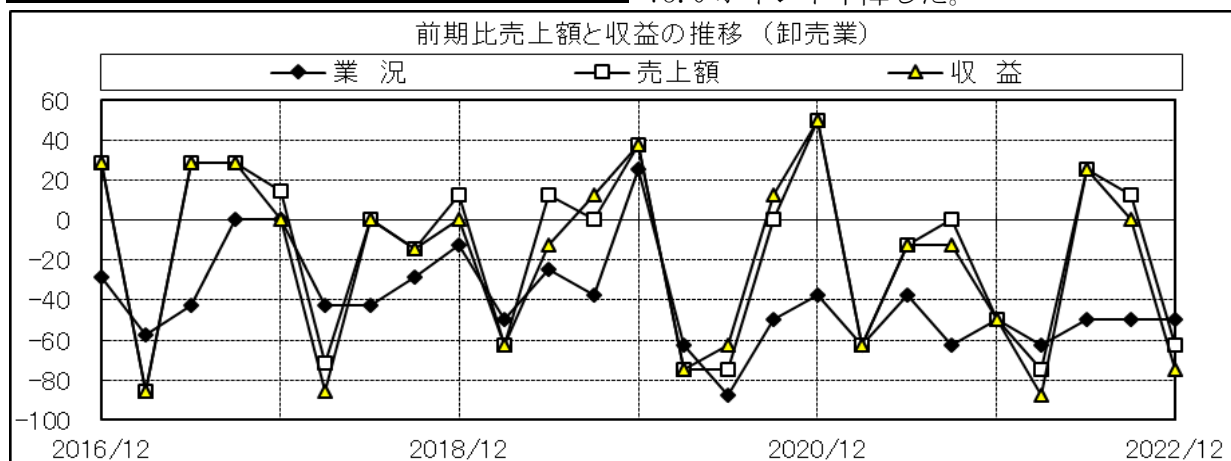
予想仕入価格判断D. I. は46.5と、今期比16.2ポイントの下降を見通している。

卸売業 8企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業況	-50.0	-50.0	-50.0	-62.5
売上額	25.0	12.5	-62.5	-37.5
収益	25.0	0.0	-75.0	-50.0

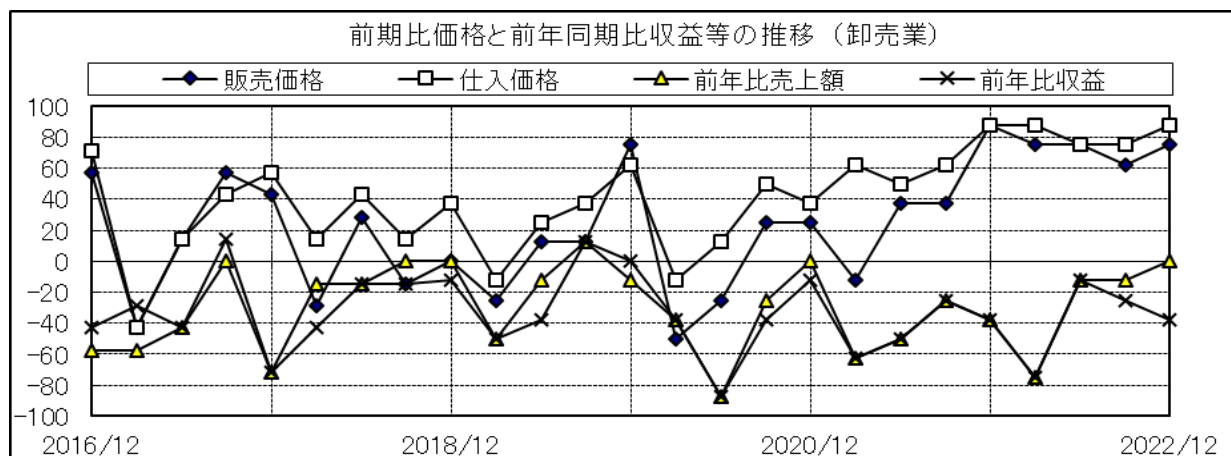
今期の業況判断 D. I. は△50.0 で、前期と同水準となった。前年（△50.0）と同水準となった。地区別の水準は、浦河地区は下降、静内地区は上昇、様似地区は横這いとなった。売上額判断 D. I. は△62.5 で、前期比 75.0 ポイント下降した。収益判断 D. I. は△75.0 で、前期比 75.0 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
販売価格	75.0	62.5	75.0	12.5
仕入価格	75.0	75.0	87.5	25.0

販売価格判断 D. I. は 75.0 で、前期比 12.5 ポイント上昇した。前年（87.5）比 12.5 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 87.5 で、前期比 12.5 ポイント上昇。前年（87.5）と同水準となった。業種別では、水産業は、販売・仕入価格は前期比上昇。食品業は、同横這いとなった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	0.0	12.5	0.0	-25.0
人手状況	0.0	0.0	0.0	0.0

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期比 12.5 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準となり、人手不足感に変化は無かった。

□ 設備投資の動き

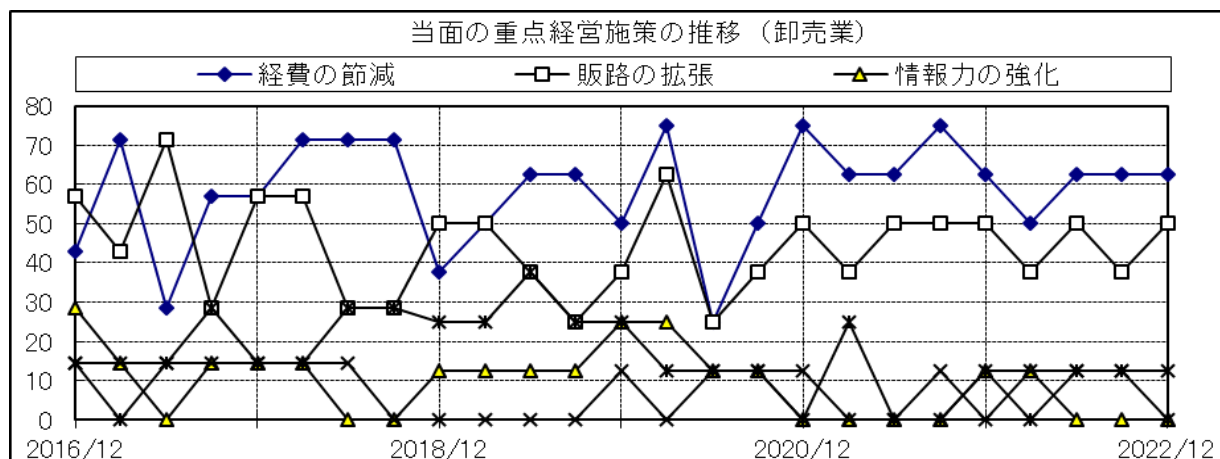
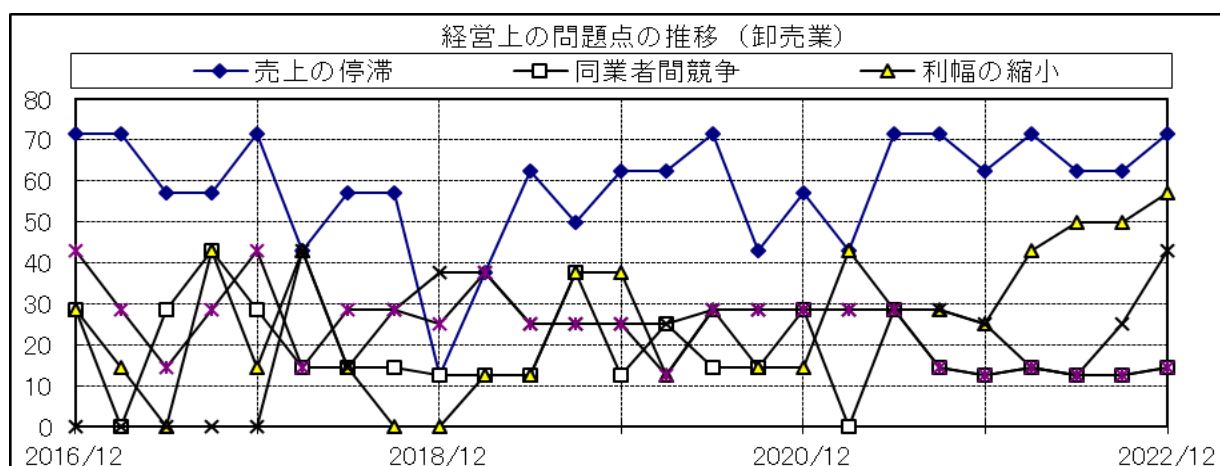
設備投資の充足感を示すD. I. は0.0で、前期(0.0)と同水準となった。

設備実施企業割合は25.0で、前期(12.5)比12.5ポイント上昇した。設備投資は、前期1社に対し、2社の実施となった。来期の設備投資予定はゼロとなっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が71.4%と最も多く、次に「利幅縮小」57.1%、「取引先減少」42.9%、「販売商品不足」・「値上要請」が28.6%、「同業者競合」・「天候不順」・「地場産業衰退」・「為替レート変動」が14.3%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が62.5%と最も多く、次に「販路拡大」50.0%、「品揃え充実」・「新事業開始」・「流通経路見直し」・「取引先支援」・「不動産有効活用」が12.5%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△62.5と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△37.5と、今期比25.0ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は△50.0と、今期比25.0ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は12.5と、今期比62.5ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は25.0と、今期比62.5ポイントの下降を見通している。